

# Press Release



8 . 6 . 1  
水 産 課  
内 線 2 6 1 8

## 宇和島湾で発生した有害赤潮について

- 1 本日(6月1日)の水産研究センターの赤潮調査において、宇和島湾の一部海域で、危険濃度(1,000細胞/ml以上)を超える1,420細胞/mlの有害プランクトン「カレニア・ミキモトイ」が観測されました。
- 2 現段階では、この赤潮による漁業被害は発生していませんが、宇和海沿岸では赤潮が発生しやすい環境となっていることから、南予地方局水産課及び水産研究センターでは、関係漁業協同組合(支所)に対し
  - 漁場の監視を強化すること。
  - 魚類養殖では、餌止めや出荷作業を控えること。
  - 生簀の避難移動は、「赤潮被害対応マップ(H25県作成)」を参考に、適時・適切に実施すること等々を呼び掛けています。
- 3 県では、引き続き水産研究センターで調査を継続するとともに、関係市町及び漁業協同組合との連携を密にして、迅速な情報提供に努めてまいります。

○本件連絡先

愛媛県農林水産部水産局水産課資源管理係

TEL 089-912-2618

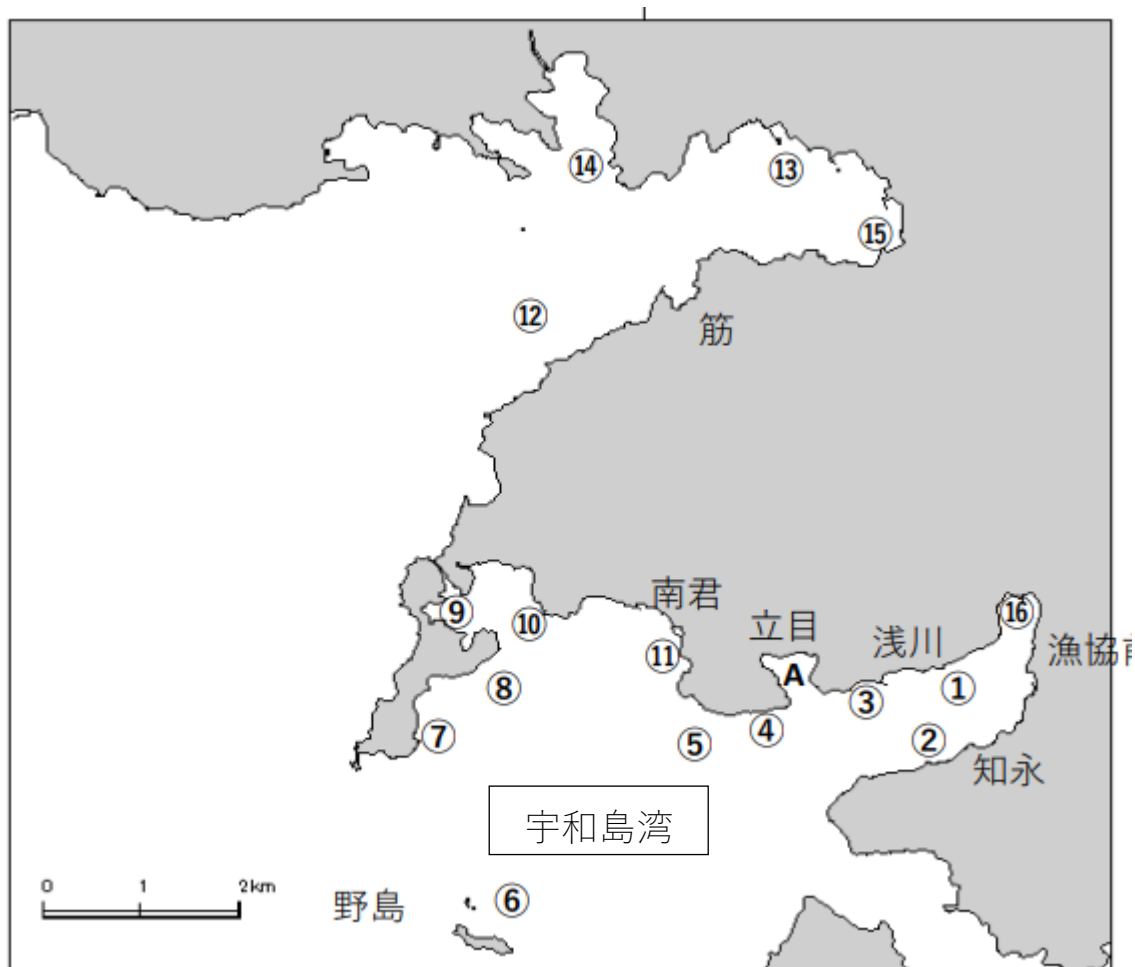
担当者：橋田大輔(内線2618)

## 各地点のカレニア・ミキモトイ濃度

地点	①	②	③	④	⑤	⑥
水深	4.5m	2.5m	4.0m	2.5m	3.5m	4.0m
濃度 (細胞/ml)	30	1,420	50	690	50	95

地点	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑭
水深	3.0m	4.0m	2.5m	3.0m	3.0m	4.0m
濃度 (細胞/ml)	100	85	1,085	885	190	0

## 発生位置図



## カレニア・ミキモトイの危険濃度

対象	危険濃度 (細胞数/ml)	主な発生場所
魚類	1,000	宇和海(吉田湾、宇和島湾、岩松湾) 伊予灘(伊予～三崎)
貝類	10,000 (アコヤガイ)	
	200 (アワビ)	



カレニア・ミキモトイ